

別紙 1 - 1

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	甲	第	号
------	---	---	---	---

氏 名 渡邊 一久

論 文 題 目

Association between dysphagia risk and unplanned hospitalization  
in older patients receiving home medical care

(在宅高齢患者における嚥下障害と予期せぬ入院の関連性)

論文審査担当者

名古屋大学教授

主 査 委員

勝野 雅央



名古屋大学教授

委員

曾根 三千彦



名古屋大学教授

委員

日比 英晴



名古屋大学教授

指導教授

葛谷 雅文



## 論文審査の結果の要旨

別紙 1 - 2

今回、訪問診療における予期せぬ入院に影響を与える因子について、嚥下障害に着目して後方視的に検討した。高齢者の医療の在り方を検討するためのコホート研究 (Observational study of Nagoya Elderly with HHome Medical care ; ONEHOME) の登録データをもとに、初回入院までの経過日数を Cox 回帰分析により検討した結果、Dysphagia Severity Scale (DSS) 1~4 点の群が、年齢、性別、Barthel Index、Comorbidity Index、Mini Nutritional Assessment -Short Form および認知症自立度を調整したうえで、予期せぬ入院と有意に関連していることがわかった (HR=2.292、95%CI 1.296-4.052、p=0.004)。嚥下障害のリスクは、訪問診療を受けている高齢患者の予期せぬ入院と有意に関連していることがわかった。

本研究に対し、以下の点を議論した。

1. 本研究において予期せぬ入院の原因を分析した結果、DSS 1~4 点群 (Low DSS 群) では、DSS 5~7 点群 (High DSS 群) よりも肺炎によって入院する患者の割合が高かった (37.0% vs 24.2%)。肺炎入院患者に絞ってサブ解析を行った場合でも、初回入院までの経過日数を Cox 回帰分析により検討すると、Low DSS 群であることが予期せぬ入院と有意に関連している。嚥下障害は地域在住高齢者における肺炎入院の危険因子であることがわかっている。訪問診療を受けている患者でも同様の結果であることが示唆された。
2. 3. 本研究では Low DSS 群の方が High DSS 群に比して有意に認知機能が低い。一般的に認知機能が低下した患者では嚥下機能も低いことがわかっている。アルツハイマー型認知症の患者では、記銘力障害に比して習慣性の行動は維持されやすいことから、摂食嚥下障害が出現するのは中等度以降である。先行期の障害が優位であり摂食スピードの調整困難、食具の使用困難、食事開始困難が問題となる。また準備期・口腔期においても、口腔内での処理の問題から食塊形成が不十分なまま嚥下反射が生じてしまう。レビー小体型認知症患者の摂食嚥下障害は、身体症状、すなわち錐体外路症状に大きく影響される。また、幻視や視空間認知障害、意識レベルの変動によって先行期が障害される。また、DSS5 点は、主として口腔期の評価を行っており、口の中に食べ物が残っていないか、口からこぼれていないかを評価する。これらは実行機能低下とも関連している。Low DSS 群には認知機能低下により嚥下機能が低下している患者が多く含まれていると考えられる。

以上の理由により、本研究は博士 (医学) の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

## 試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 甲 第	号	氏 名	渡邊 一久
試験担当者	主査	勝野雅央	副査 <sub>1</sub>	曾根三千彦
	副査 <sub>2</sub>	日比吳晴	指導教授	葛谷雅文
(試験の結果の要旨)				
<p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入院理由を肺炎に絞った場合のサブ解析について</li> <li>2. Low Dysphagia Severity Scale (DSS) 群と認知機能の関係について</li> <li>3. Dysphagia Severity Scale 5の詳細について</li> </ol> <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、地域在宅医療学・老年科学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				